

後期基本計画

◆稲敷市総合計画後期基本計画◆

序章 重点プロジェクト “いいな！稲敷”

2012～2016

「みんなが住みたい素敵なまち」の 実現に向けた重点プロジェクト

人口減少・少子高齢化の進行、国際化、高度情報化の進展など大きく変化していく社会経済情勢の中、対応すべき課題は山積しています。今後5年間を見据えた中で、重要なことは何なのか、優先順位を明確にして、稲敷市の行財政運営を推進することが重要です。

そのため、後期基本計画において展開する施策・事業を横断的にまとめ、平成24年度からの5年間で先導して行う施策を「重点プロジェクト」として位置付け、戦略的な事業展開を図り、「みんなが住みたい素敵なまち」の具体化を目指します。

重点プロジェクトに設定された施策に該当する事業は、毎年ローリングで見直しを行っている実施計画において、特に優先度が高い事業として格付けし、重点的に展開するものです。



Project 1 稲敷らしいプロジェクト

稲敷市の一体的な発展と稲敷らしい魅力ある地域づくりを目指し、「産業」「文化」「自然」など、稲敷市の様々な「宝」を発掘・活用し、市民の手でこれまでの「宝」を大切に守るとともに、新たな「宝」を創造します。



action plan 1

農業復興・振興アクションプラン

農業生産の土台である農地を守り、農産物をつくり出す農業者の拡大を図りながら、積極的に新たな農業施策を実践する“元気で明るい”農業の発展強化に努めます。



☆ 稲敷の農地を守ります。 (宝1-①)

後期基本計画に対応する施策番号 [5010101/5010301、02/7020202]

1日も早い農地及び農業用施設の復旧を図り、遊休農地の解消、景観を含めた多面的な機能を合わせて、稲敷の農地を次代に継承します。

例えばこんな事業に取り組みます

- 被災した農地・農業用施設の復旧に関する事業
- 市農業公社の強化支援に関する事業
- 遊休農地対策に関する事業

など

☆ 稲敷の農業者を支援します。 (宝1-②)

後期基本計画に対応する施策番号 [5010303/5010401~06]

市内で頑張る農家の支援や新たな担い手を発掘・獲得するとともに、農地の流動化促進に努め、今後、危機的状況が予想される後継者問題の解消を目指します。

例えばこんな事業に取り組みます

- 農業事業者の人材育成に関する事業
(例 新事業創出人材育成プログラムなど)
- 農業のイメージアップに向けたPR関連事業
(例 頑張る農家を応援する冊子作成など)
- 農業の労働力としてのシルバー人材センターの活用
- 高齢者の農業者支援に関する事業
(例 高齢化した農業従事者を支援する(仮称)農業の匠支援事業など)

など

☆ 稲敷の「農業」の発展・強化に努めます。 (宝1-③)

後期基本計画に対応する施策番号 [5010102、03/5010701]

農業者の法人化や農業への民間企業参入の促進、農業の大規模化をはじめ、6次産業化による高付加価値化の推進など、新たな農業施策に着手するとともに、農業再生に向けた体制づくり強化に努め、産業として自立した“元気で明るい”農業を目指します。

例えばこんな事業に取り組みます

- (仮称)いなしき未来の農業研究会の設立に関する事業
- 環境保全型農業*の確立に関する事業
- あげ餅など加工品に力を入れた6次産業化*の推進に関する事業
- 農地の集約化・大規模化に関する事業

など

市内で時々目にする《いなしき未来の農業研究会》がいろんなことを仕掛けて頑張っているんですね。若い農業者が増えた感じもするし、農産物の加工品開発を見ていると、これからは農業が稲敷の未来を発展させていくような期待があるわね。

Q

これから稲敷市に期待したい点などはありますか。

海外の安い農産物も最近はいってきていますけれど、結局、値段よりも国内で生産された質の良い農産物を買う方がいい！という風潮が強いでしょう。そんなトレンドもあってか、稲敷の農産物もメディアで紹介される機会が増えてきましたよね。以前よりも「ブランド力」は上がってきたと感じますよね。

Q

稲敷市の農産物のイメージは前と比べて変わりましたか。

今日は、親戚に送る贈答用のお米を買いに来たの。結婚して稲敷に住むようになりましたが、今まで食べていた米と比べものにならない程、稲敷のお米は美味しいので、親戚の人にもお贈りしているの。

Q

今日は何を買いに来たのですか。

未来へ訪問！
5年後の市民にインタビュー

農産物センターに買い物に来た主婦の方にお話をお聞きしました。



3世代同居の家で暮らす主婦のAさん

action plan 2

地域経済活性化アクションプラン

圏央道と東関東自動車道の接続を一つの契機と捉え、積極的に企業誘致を展開するほか、商店街をはじめ地域の商業環境の充実に努め、地域住民にとっても便利で、かつ、外からも人がやってくる賑わいのある商業を目指します。



☆ 企業誘致を積極的に推進し、地域経済の活性化を図ります。宝2-①

後期基本計画に対応する施策番号 【5020101、02】

東関東自動車道への圏央道接続等をチャンスと捉え、市独自の支援・優遇策の拡大や、企業向けPR戦略の強化など「企業が魅力を感じるまちづくり」に取り組みます。

例えばこんな事業に取り組みます

- 江戸崎工業団地への企業誘致などに関する事業 (例 独自の誘致企業への助成制度など)
- 企業向けPR戦略や企業誘致セクションの強化に関する事業 など

☆ 近隣の人たちが気軽に集まれる場所として、商店街等の賑わいづくりに努めます。宝2-②

後期基本計画に対応する施策番号 【5030101、04】

稲敷にしかない地域資源を活かしたイベントの実施や地域の人材や文化の発信などを商工会や大学と連携しながら実施することで、商店街等の活性化に努めます。

例えばこんな事業に取り組みます

- 江戸崎商店街活性化に関する事業 (例 えどさき笑遊館運営に関する事業など)
- 大学(筑波大学・流通経済大学など)との連携による活性化関連事業
- 各種情報提供やイベント等の活性化関連事業 (例 笑遊館ホームページなどにおける情報発信) (例 えどさき夏祭りや干社礼、ひなまつりなどのイベントなど) (例 お笑いイベントなど趣向を凝らしたイベントなど) など

☆ 市民の暮らしを支える「まちの財産」として、地域で買い物ができる場所を大切にします。宝2-③

後期基本計画に対応する施策番号 【5030201、02】

市内における消費活動を促進するための取り組みを推進します。

例えばこんな事業に取り組みます

- 買い物対策に関する事業 (例 移動販売など)
- 地域経済活性化に関する事業 (例 プレミアム商品券事業など) など
- 買い物の利便性を高める公共交通等の整備促進に関する事業

農業や環境関連の先進的な企業が視察に来ていと聞いたけれど、これから、時代を引っ張っていく企業が市内にもっと立地してくるようになってほしいと期待していますよ。

Q

これから稲敷市はどう変わっていくと思いますか。

最近、地元商店街が協力して宅配や移動販売など新しいサービスをスタートするようなことも聞いています。この年頃になると、体も思うように動かなくなって、外出もおっくうになる時もあるので、これが実現すると、本当に助かるなあと思っています。今は、その制度がスタートするのを楽しみにしていますよ。

Q

日々の買い物環境など生活利便性はどの程度ですか。

圏央道が繋がりと、どうなるかと思っていたけれど、新しい企業の誘致が成功したり、市街地の商店街に新しい店舗が来たりして、だんだんと良い方向に向かっている感じがしますね。

Q

ずっと稲敷市を見続けてきて最近はどう変わりましたか。

未来へ訪問！
5年後の市民にインタビュー

高齢者世帯のお宅を紹介していただき、お話を伺いました。



子どもが独立し夫婦二人だけで暮らすBさん



action plan 3

いいもの・ほんものアクションプラン

稲敷市にしかない「豊かな自然環境」とその自然に育まれた農産物、育ててきた豊かな地域性を活かして、「いなしきブランド」の創出を図ります。



☆ 稲敷ならではの「いいもの」「ほんもの」を売り込み、「地域ブランド」の価値を高めます。 **宝3-1**

後期基本計画に対応する施策番号 【5040303~05】

霞ヶ浦を望む景観や田園風景など、自然環境の良さや人の温かみ、農産物などの美味しさや安全性、立地環境の良さなど、積極的に「いなしき」の「いいもの」と「ほんもの」を様々な機会を通して売り込みます。

例えばこんな事業に取り組みます

- 産直イベントの開催や市外イベントへの参画
- ホームページ・ブログ*・ツイッター*などインターネット技術の活用
- など

☆ 生産地のイメージと一体となった「ほんもの」をさらに発掘・開発します。 **宝3-2**

後期基本計画に対応する施策番号 【5010202、03/5010603/5030204/5040201、02】

稲敷らしさを前面に出したスローフード*の開発・提供や隠れた銘品の発掘・商品化など、稲敷ならではのものを提供します。

例えばこんな事業に取り組みます

- 郷土・創作料理コンテストの開催
- インターネット直売所等での販売（例 “宝ねっと” と称したホームページの作成など）
- 隠れた銘品発掘・開発（町田の七味*、あんべらほん*、らっつゑ*、のっぺい汁*など）
- など

☆ 稲敷の「いいもの」「ほんもの」を創造するためにチャレンジしている企業を応援します。 **宝3-3**

後期基本計画に対応する施策番号 【5020201】

市内で頑張る地元企業への支援や、企業間の連携による新しいビジネスモデルへの支援、既存企業の新分野への進出に対する支援など、頑張る企業を応援する仕組みづくりを進めます。

例えばこんな事業に取り組みます

- （仮称）頑張る企業応援連絡会の設立
- 起業化やものづくりへの支援に関する事業（提案型事業への支援）
- など

☆ 稲敷の「ほんもの」を集め「いいもの」を売り込む、「拠点」づくりに取り組みます。 **宝3-4**

後期基本計画に対応する施策番号 【5040106/6010105】

圏央道の「インターチェンジ周辺」や「（仮称）江戸崎パーキングエリア」などにおいて、地元物産品の販売やそのための加工施設を持つ地域振興拠点について検討し、稲敷の宝をすべて集めて発信する拠点づくりを進めます。

例えばこんな事業に取り組みます

- （仮称）江戸崎パーキングエリア活用事業
- など

都心での用事はインターネットを使えば済むからね。田園が一面に広がる景色を見た時に、ここだ！って思ったんだ。それに、他とは違った個性がある所も魅力だと思っよ。例えば、稲敷の食材を使った古民家レストランとか田舎カフェがあったりして、土地の持つ魅力を活かした稲敷流の文化が芽生えている所も気に入っているんだ。圏央道にも近いから、環境とか農業とか、これからの時代に適した新しいビジネスが生まれる期待もあるしね。もし、機会があれば、僕も新しい事業にチャレンジしたいんだ。

Q

この土地を選んで引っ越して来られた理由は何ですか。

首都圏の範囲と言われる距離感の中に、東京にはないホンモノが身近にある点じゃないかな。広い空の下で育った美味しい食材があって、いつでもすぐに釣りや散歩、サイクリングが楽しめる自然に囲まれた環境は、最高に暮らしやすいよね。

Q

稲敷市の良さって何ですか。

未来へ訪問！
5年後の市民にインタビュー

友達をこだわりの料理で招待するため、食材の買い出しに来たCさんにお話をお聞きました。



都心から引っ越してきた独身のCさん